御意見の概要及びそれに対する考え方

御意見	御意見に対する見解
本案は、組換えDNA技術を用いた飼料「チョウ目害虫抵抗性ダイズMON94637系統」について、科学的な安全性評価を踏まえた制度的確認を行うものです。資料全体を通して、家畜への影響や環境への拡散リスクが限定的であることが丁寧に示されており、一定の安心感を持って受け止めることができます。 特に、Cry1A.2およびCry1B.2たん白質の発現による害虫抵抗性以外は、既存のダイズと形態・生育特性に差異がなく、飼料としての利用方法も従来と変わらない点は評価できます。遺伝子の安定性や挿入構造の確認、圃場試験の実施、自然交雑の可能性が極めて低いことなど、科学的な根拠に基づいた説明がなされており、制度としての信頼性を支える要素が揃っていると感じます。 もちろん、組換え体に関する議論には常に一定の懸念が伴いますが、本案に示された情報を信用する限り、大きなリスクは見当たりません。加えて、米国、カナダ、EU、オーストラリア・ニュージーランドなどで審査・承認が進行中または完了していることは、国際的な信頼性の裏付けとして重要です。 今後は、現場での適用状況や検査精度への影響を注視しつつ、必要に応じた運用指針の整備と制度の継続的な改善が求められます。そして何より、制度の信頼性は技術的な正確さ	今後も引き続き、飼料の安全確保の観点から、遺伝子組換え農作物に関して適切に安全確認を行ってまいります。 組換え飼料につきましては、その指定に当たり、農業資材審議会飼料分科会等において安全性等について審議を行うこととされており、その審議資料や議事録は公開することとしております。また、審議において作成した安全性確認書には、組換え飼料添加物としての安全性に問題がないと判断する根拠となった参考文献や参照資料を表記し、当該安全性確認書を、国民の皆様から意見・情報の募集を行う際にお示しすることとしております。今後とも、国民の皆様に対してより分かりやすい資料をお示しできるよう引き続き心がけてまいります。

とともに、社会との対話によって支えられるべきものです。 診断精度や検査体制に関心を持つ現場関係者や市民が、制度の改善に向けて建設的な意見を届けられるよう、意見募集の周知と参加しやすい環境づくりを強く望みます。	
・組換えDNA技術は、それに問題があるか否かが未だ判明していないことが問題です。 安全性が確認されていない技術を実用化することは事故を容認することに等しく、消費者を実験台にするきわめて非人道的な行為だと考えます。 一切の組換えDNA技術について現段階では認めることは出来ない、というのが正しい科学的な考え方ではないでしょうか？ ・実験動物や人に被害がないことを確認し、被害のないものを作るようにしてほしい。	組換えDNA技術により得られた生物を利用して製造された飼料・飼料添加物（以下「組換えDNA技術応用飼料・飼料添加物」とします。）については、食品安全基本法（平成15年法律第48号）及び飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律（昭和28年法律第35号。）等により、人や家畜等の健康に有害な影響を防止する観点から、その安全性につき農林水産大臣の確認を受けたものでなければ製造してはならないこととされています。 安全性の確認に当たり、農業資材審議会では、組換えDNA技術応用飼料が家畜等の健康に有害な影響を与えないよう、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の規定に基づく組換えDNA技術応用飼料及び飼料添加物の安全性に関する確認の手続を定める件（平成14年11月26日農林水産省告示第1780号）に基づき、以下の事項等を確認します。 ・新たな毒性物質の産生、毒性物質の量的増加 ・栄養成分量の大きな変化 ・家畜への給与方法などの変化（変化する場合は家畜の健康に影響を及ぼすことを確認） また、食品安全委員会では、組換えDNA技術応用飼料を摂取した家畜に由来する畜産物の人への安全性について評価します。 上記により、安全性が確認されたもののみ承認しております。

遺伝子組み換え大豆を人間が食べる場合の安全性も評価すべきです	遺伝子組換え食品の安全性は、消費者庁及び食品安全委員会が、審査・評価しています。いただいた御意見は関係省庁に共有いたします。
組換えDNA技術応用飼料の安全性確認（案）の（２）遺伝的先祖に関する事項に「ダイズは一般に中国中北部を原産とする最も古い栽培作物のひとつと考えられている。」とあるが、フードウォッチジャパンやウィキペディアのダイズの記事に「日本には縄文時代に存在したと思われる世界最古の大豆の出土例があり、」ということが書いてある。出土例もないのに「一般に大豆が中国中北部を原産とする最も古い栽培作物のひとつ」と考えるのはちょっと難しいと思う。「日本には縄文時代に存在したと思われる世界最古の大豆の出土例がある。」という文章があると、間違った知識が広まる可能性を防げると思ったのでそのようにしてほしい。	組換えDNA技術応用飼料の安全性確認（案）は、申請者より提出された文献中の「ダイズは中国中北部が原産の、最も古い栽培作物のひとつと考えられている。」という旨の記載を引用しております。いただいたご意見は参考にさせていただきます。